

記念講演会

2.27⑩
「若冲ブームを超えて」
—— 奇想画家列伝 ——



【講師】
山下 裕二
本展監修
明治学院大学教授

【時間】14:00～15:30(13:30開場)
【会場】東京都美術館 講堂(交流棟 ロビー階/定員225名)
※ 聴講無料、ただし本展観覧券(半券可)が必要
※ 当日13:00より講堂前で整理券を配布、定員になり次第受付終了
※ 整理券は一人につき一枚の配布

奇想の画家は若冲だけではありません。さらにエキセントリックな蕭白、エンターティナー・芦雪をはじめ、近年若い人にも大人気の国芳まで。アヴァンギャルドな江戸絵画のエッセンスを精選してお伝えします。

I 2.15金 II 3.15金

本展担当の学芸員が見どころを解説します。
【講師】中原 淳行(東京都美術館 学芸員)
【時間】18:30～19:00
【会場】東京都美術館 講堂
(交流棟 ロビー階/定員225名)

※ 聴講無料、ただし本展観覧券(半券可)が必要
※ 当日18:10より開場、定員になり次第受付終了
※ ご本人以外の席の確保はご遠慮ください

レク
ブ
ニ
ン
グ
・
チャ
ー

映画上映会
3.9± 山中常盤

— 牛若丸と常盤御前 母と子の物語 —

本展出品作品の岩佐又兵衛《山中常盤物語絵巻》を題材にした羽田澄子監督による2004年の美術映画。

【時間】11:30/14:30(各回上映100分)
【会場】東京都美術館 講堂(交流棟 ロビー階/定員225名)

※ 無料、ただし本展観覧券(半券可)が必要
※ 当日10:30/13:30より講堂前で整理券を配布、定員になり次第受付終了
※ 整理券は一人につき一枚の配布



音声ガイド

ナビゲーター 小林 薫(俳優)

自由で斬新、非日常の世界へようこそ。
江戸の奇想画家
8名の物語にいざないます。

【貸出価格】1台 550円(税込)

お得なチケット情報

2展お得に観覧!

新・北斎×奇想の系譜セット券 2,800円

「新・北斎展」と「奇想の系譜展」、ふたつの展覧会が開幕後も一般前売料金で楽しめるお得なセット券です。各展の会期中、各展を1回ずつ観覧いただけます。

【販売期間】2018年10月29日(月)～2019年3月24日(日)
【販売場所】展覧会公式サイト、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット

新・北斎展 2019年1月17日(木)～3月24日(日)
HOKUSAI UPDATED 森アーツセンターギャラリー(六本木ヒルズ森タワー52階)

各1000セット限定!

グッズセット券 3種

【販売期間】2018年10月29日(月)～なくなり次第終了
【販売場所】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット

A 「奇想手ぬぐい」セット券

2,500円



【2色から選べます】

B 「奇想ワッペンパステケース」セット券

5,500円【若冲の虎か蕭白の鬼を選べます】



京都発・話題の
刺繍ブランド、
東京都との
コラボが実現!

C 「国芳ミニがま口」セット券

2,800円【猫か鯨を選べます】

※画像はイメージです ※グッズは本展会場内特設ショップで引換えます ※グッズは本展会期中、会場内特設ショップでもお求めいただけます

観覧料	一 般	大学生・専門学校生	高校生	65歳以上
当日券	1,600円	1,300円	800円	1,000円
前売/団体	1,400円	1,100円	600円	800円

○ 東京都美術館(上記企画チケットを除く)、展覧会公式サイト、主要プレイガイド・コンビニ店頭などで販売

○ 前売券は2018年12月4日(火)から2019年2月8日(金)まで販売

※団体は20名以上 ※中学生以下無料 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料 ※毎月第3土・翌日曜日は家族ふれあいの日より、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般当日料金の半額(いずれも証明できるものを持参ください) ※都内の小学・中学・高校生ならびにこれに準ずる者とその引率の教員が学校教育活動として観覧するときは無料(事前申請が必要)

2月20日(水)、3月20日(水)はシルバーデーにより、65歳以上の方は無料。そのため混雑が予想されます。

Lineage of Eccentrics: The Miraculous World of Edo Painting

In 1970, now almost a half century ago, the art historian Tsuji Nobuo (born 1932) published *Lineage of Eccentrics (Kiso no keifu)*. In that groundbreaking book, Tsuji introduced a group of painters who had never before been comprehensively featured in books or exhibitions. These artists' pictures shared free and innovative conceptions, otherworldly visions, and an unexpected penchant for breaking the bounds of convention. Fifty years later, these painters who were once relegated to the margins of the history of Japanese painting enjoy an almost fanatical popularity among contemporary viewers, who find links to contemporary art in their innovative expressions.

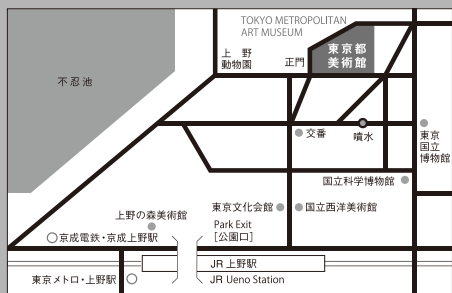
This exhibition features the six artists about whom Tsuji wrote in *Lineage of Eccentrics*—Iwasa Matabei, Kano Sansetsu, Ito Jakuchu, Soga Shohaku, Nagasawa Rosetsu, and Utagawa Kuniyoshi—and adds two more, Hakuin Ekaku and Suzuki Kiitsu. Through a careful selection of masterpieces by these eight painters we aim to excite viewers already familiar with the current fame of Jakuchu, Edo painting and even the recent the “Japanese art boom,” as well as viewers who will encounter these fascinating works for the first time. In a new “Lineage of Eccentrics” seen through the eyes of contemporary viewers we hope to spotlight the incredible vision and rich imagination of Edo period painting.

Venue	Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo, Ueno-Park)
Exhibition Period	Saturday, February 9 – Sunday, April 7, 2019
Opening Hours	9:30 - 17:30 (until 20:00 on Fridays, March 23, 30, and April 6) *Final admission: 30 minutes before closing
Closed	Mondays, February 12 (Open on the Mondays of February 11 and April 1)
Admission	General 1,600 (1,400) / College students 1,300 (1,100) / HS students 800 (600) / Seniors 65+ 1,000 (800) *() for advance and groups of 20 or more discount tickets *Admission free for junior high school students and under

【交通のご案内】〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 <http://www.tobikan.jp>

●JR上野駅公園口より徒歩7分 ●東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分 ●京成電鉄京成上野駅より徒歩10分 ●駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮ください。*7 min, walking from JR “Ueno Station” Park exit.

展覧会公式サイト <https://kisou2019.jp> お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 展覧会公式Twitter @kisou2019 #奇想の系譜展



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



Lineage of Eccentrics:
The Miraculous World
of Edo Painting
奇想の系譜展
江戸絵画ミラクルワールド

2019年2月9日(土)～4月7日(日)

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
東京・上野公園
TOKYO UENO-PARK

【開室時間】9:30～17:30 *金曜日、3月23日(土)、3月30日(土)、4月6日(土)は20:00まで(入室は開室の30分前まで) 【休室日】月曜日、2月12日(火) *ただし、2月11日(月・祝)、4月1日(月)は開室
【主催】東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社、NHK、NHKプロモーション
【共催】朝日新聞社 【協賛】凸版印刷、トヨタ自動車、三井物産 【協力】日本航空 【企画協力】浅野研究所
中央:伊藤若冲《集陽花双鶏図》(部分) 米田・エツコ&ジョー・ブライスコレクション 左上から時計回り:長沢芦雪《白象黒牛図》(部分) 米田・エツコ&ジョー・ブライスコレクション、曾我蕭白《雪山童子図》(部分) 三重・榎松寺、歌川国芳《宮本武蔵の縁起》(部分) 個人蔵、曾我蕭白《雪山童子図》(部分) 三重・榎松寺、狩野山雪《龍虎図》(部分) 個人蔵



幻想の博物誌 伊藤若冲

左:《旭日鳳凰図》絹本着色 一幅 186.0×114.3cm 宝暦5年(1755) 宮内庁三の丸尚蔵館【展示期間】2/9-3/10
右:《象と鯨図屏風》紙本墨画 六曲一双 各159.4×354.0cm 寛政9年(1797) 滋賀・MIHO MUSEUM



長沢芦雪

京のエンターテイナー



右:《雪山童子図》紙本着色 一幅 169.8×124.8cm 明和元年(1764)頃 三重・継松寺
左:《群仙図屏風》重要文化財 紙本着色 六曲一双 各172.0×378.0cm 明和元年(1764) 文化庁【展示期間】3/12-4/7



《群猿図襖絵》(部分) 重要文化財 紙本淡彩 四面 各166.0×117.5cm 寛政7年(1795) 兵庫・大乗寺

江戸時代の奇想画家 8名の傑作が勢揃い！

奇想の起爆剤

白隠慧鶴



《半身達磨図》紙本着色 一幅 192.0×112.0cm 江戸時代(18世紀) 大分・萬壽寺

狩野山雪

狩野派きっての知性派



《梅花遊禽図襖絵》重要文化財 紙本金地着色 四面 各184.0×94.0cm 寛永8年(1631) 京都・天球院

岩佐又兵衛

執念のドラマ



《山中常盤物語絵巻 第四巻(十二巻のうち)》(部分) 重要文化財 紙本着色 一卷 34.1×1259.0cm 江戸時代初期(17世紀前半) 静岡・MOA美術館

歌川国芳

幕末浮世絵七変化



《相馬の古内裏》ふさぐいり 大判錦絵三枚続 弘化2-3年(1845-46)頃 個人蔵

曾我蕭白、長沢芦雪、歌川国芳の他に白隠慧鶴、鈴木其一を加えました。

8名それぞれの画家の作品を厳選し、近年の「若冲ブーム」、「江戸絵画ブーム」、ひいては「日本美術ブーム」の実相をご存じの方にも、またこの展覧会ではじめて魅力的な作品に出会うことになる方にも、満足していただける内容を目指しました。現代の私たちの目を通して、新たな「奇想の系譜」を発信することで、豊かな想像力、奇想天外な発想に満ちた江戸絵画の新たな魅力を紹介します。



【展示期間】2/9-3/10



江戸琳派の鬼才 鈴木其一

《百鳥百獸図》 絹本着色双幅 各138.0×70.7cm 天保14年(1843) 米国・キャサリン&トーマス・エドソンコレクション

* 会期中に一部展示替えがあります。出品作品や展示期間は変更になる場合があります。